

やはば

議会だよ

221
2022.7.21
岩手県
矢巾町議会



議会で決めたこと

転入・転出届の記入簡素化へ 2

町政を問う 一般質問 11 議員

新エネルギー導入計画は 6

議会からのお知らせ

追跡 あの質問はどうなった 18

チャグチャグ馬コ
前祝祭 (徳田小学校)
(関連記事...P20)

異動受付支援システム導入

転入・転出届の記入簡素化へ

4月27日に開催された4月会議では、一般会計補正予算を審議し議決しました。6月7日から16日までの10日間に開催された6月会議では、条例改正や補正予算などを審議し議決しました。一般会計の総額は114億6038万円となりました。

4月会議

補正予算

主な内容は次のとおりです。

主な歳入

- ▽個人番号カード交付
事務費補助金 162万円
- ▽マイナポイント
事業費補助金 520万円
- ▽デジタル田園都市
国家構想推進交付金 664万円
- ▽社会資本整備総合交付金 3740万円

主な歳出

- ▼新型コロナウイルス
ワクチン接種券作成送付
業務委託料 402万円
- ▼マイナンバーカード
申請支援事業委託料 162万円
- ▼マイナポイント
申請支援事業委託料 162万円
- ▼異動受付支援システム
導入業務委託料 520万円
- ▼防災安全対策事業
(町道矢次線道路改良事業)
6821万円

新型コロナウイルスワクチン 接種券作成送付業務委託料



402万円

4回目ワクチン接種の準備をします。

ワクチン接種状況は

質問 コロナワクチン3回目の年齢別接種状況は。

回答 3回目の状況は65歳以上は91・5%、20代37・8%、30代34・2%、40代が45・2%
(4月27日現在)

防災安全対策事業 (町道矢次線)

6821万円



交通安全対策のため町道矢次線を改良します。

マイナンバーカード・マイナポイント 申請支援事業委託料

682万円
(162万円・520万円)



やはばーくやスーパーで申請の受付をします。

住民異動受付支援システム 導入委託料

1265万円

転入・転出届時に住所や氏名を何度も書かずに、申請が行えるようにします。

補正予算

主な内容は次のとおりです。

主な歳入

- ▽子育て世帯生活支援
特別給付事業費補助金
1920万円
- ▽文教施設による多様な
PPP/PFIの先導的
開発事業委託金
1079万円

主な歳出

- ▽子育て世帯生活支援
特別給付金(その他世帯分)
1500万円
- ▽子宮頸がん予防ワクチン
任意接種費用助成金
164万円
- ▽文教施設による多様な
PPP/PFIの先導的
開発事業委託料
968万円
- ▽矢巾駅多目的ホール
備品購入費
230万円

文教施設による多様な
PPP / PFIの先導的開発事業委託料

968万円

ゼブ小学校との関係は

質問 町の課題である老朽化した小学校の新築・統廃合などの検討と、ゼブ小学校との関係は。

回答 文部科学省の補助事業に採択されたゼブ小学校事業は、具体的な小学校の整備計画ではなく、その前段階のエネルギーをどのように効果的に使えるかを研究する事業である。

エネルギーについて地産地消などの好循環を目指し、可能性を研究します。

※ゼブ：(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称
建物で消費するエネルギーを、省エネで減らし創エネで増やす、エネルギー収支ゼロを目指した建物のこと

国保税と介護保険の
条例一部改正

コロナ禍で収入の減少が見込まれる方の国保税と介護保険料(第1号被保険者)の減免対象期間を延長します。

内容の周知方法は

質問 改正内容はどのように周知をするのか。

回答 納税通知書を送付する際に、説明資料を同封してお知らせする。

人と自然にやさしい環
境基本条例の一部改正

新エネルギーの導入促進に努めることを新たに追加しました。

条例

企業立地奨励条例の
一部改正

適用業種に新たに発電所、倉庫業、こん包業を追加して、新エネルギーの導入と物流企業の誘致により雇用の創出に取り組みます。

子育て世帯生活支援
特別給付金 (その他世帯分)

1500万円



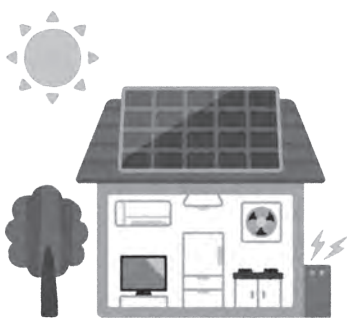
低所得世帯の子育てを支援するもので、保護者等が住民税非課税の世帯の場合、児童1人あたり5万円を給付します。

子宮頸がん予防ワクチン
任意接種費用助成金

164万円



子宮頸がん予防ワクチンを自費で接種した方への助成を開始します。



各議案の採決状況

令和4年定例会 4月会議

| 議案番号 | 提出議案 | 議員名 | | | | | | | | | | | | | | 採決結果 | | |
|------|--------------------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|-----|------|-------|-------|------|------|------|------|
| | | 藤原信悦 | 吉田喜博 | 小笠原佳子 | 谷上知子 | 村松信一 | 廣田清実 | 高橋安子 | 水本淳一 | 赤丸秀雄 | 昆秀一 | 藤原梅昭 | 長合川和男 | 川村よし子 | 小川文子 | | 山崎道夫 | 廣田光男 |
| 第33号 | 固定資産評価員の選任に関する同意 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第34号 | 令和4年度一般会計補正予算（第1号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

令和4年定例会 6月会議

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|----------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第35号 | 税条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第36号 | 介護保険条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第37号 | 人と自然にやさしい環境基本条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第38号 | 企業立地奨励条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第39号 | 令和4年度一般会計補正予算（第2号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第40号 | 令和4年度水道事業会計補正予算（第1号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 発議案第8号 | 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出 | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

○=原案に賛成 ●=原案に反対 可=可決 否=否決 同=同意 欠=欠席 注：藤原由巳議長は採決に加わらない。

みなさんからの請願

継続審査

本会議で各常任委員会に付託され審査中の請願

▽ゆたかな学びの実現・教職員定数改善・義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための2023年度政府予算に係る意見書採択を求める請願
 請願者 岩手県教職員組合
 いわて盛岡支部
 支部長 青野 大祐
 紹介議員 山崎 道夫

▽総務常任委員会
 4請願第3号 えん罪被害者を一刻も早く救済するために再審制度の速やかな改正を求める請願
 請願者 日本国民救済会
 盛岡支部

採択 審査意見

学校現場では、貧困・いじめ・不登校・ヤングケアラーなどの問題が多様化・細分化し、一層きめ細やかな対応が求められる。さらに、新型コロナウイルス感染症対策の業務も多忙化に拍車をかける。ゆたかな学びや働き方改革実現には教職員定数改善が不可欠である。独自の財源措置で自治体間の教育格差も生じており、全国一定水準の教育が受けられるべきとの請願趣旨は理解でき採択とした。

▼産業建設常任委員会
 4請願第7号 物価・原材料の高騰から国民生活と中小企業者の営業を守るため消費税を5%に下げ、インボイス制度の実施中止・延期を求める請願
 請願者 岩手県商工団体連合会

▼教育民生常任委員会
 4請願第6号 加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的支援制度創設を求める請願
 請願者 全日本年金者組合
 岩手県本部

令和3年度 政務活動費 公表します

町政に成果を反映

| 会派名 | 町民の会 | 一心会 | 矢巾明進会 | 日本共産党 | 令和やはば | 公明党 |
|---------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|-------------------------|----------------|----------|----------|
| 所属議員 | 廣田清実 高橋安子 水本淳一 藤原信悦 吉田喜博 高橋七郎 | 山崎道夫 廣田光男 藤原梅昭 昆 秀一 赤丸秀雄 | 長谷川和男 村松 信一 藤原 由巳 | 小川 文子 川村よし子 | 谷上 知子 | 小笠原佳子 |
| 収入 | 政務活動費 ① | 720,000円 | 600,000円 | 360,000円 | 240,000円 | 120,000円 |
| 支出 | 調査研究費 | 86,737円 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 |
| | 研修費 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 |
| | 会議費 | 0円 | 4,200円 | 0円 | 0円 | 0円 |
| | 資料作成費 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 |
| | 資料購入費 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 |
| | 広報費 | 0円 | 211,016円 | 0円 | 69,828円 | 0円 |
| | 事務費 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 |
| 合計 ② | 86,737円 | 215,216円 | 0円 | 69,828円 | 0円 | 0円 |
| 収支差引残額 町に返還する金額 ①-② | 633,263円 | 384,784円 | 360,000円 | 170,172円 | 120,000円 | 120,000円 |

収支報告書や領収書などの明細は、町ホームページでご覧いただけます。また、役場4階の議会事務局でも閲覧できます。

もっと詳しい内容を
知りたいときは？

政務活動費に残額が生じた場合は町に返還します。また、不足した場合は個人負担となります。

お金が余ったら
どうするの？

議員の調査研究活動の充実を図るために、必要な経費の一部を補助するものです。町では、会派に対して議員一人あたり月額1万円（令和3年度）を予算に計上しています。

政務活動費ってなに？



主な調査研究・研修活動など

| 会派名 | 内容 | 開催日 |
|------------------------|---|---------------------|
| 町民の会 矢巾明進会 令和やはば | 森山パストラルパークにおいてヤマユリ植栽 (白沢住民自治会) | 令和3年7月16日 |
| 町民の会 矢巾明進会 公明党 | 年間を通じた農業活動及び経営について (紫波町 農事組合法人 水分農産) | 令和3年12月22日 |
| 町民の会 | 令和元年の台風19号災害復興について つちのこ保育園の取り組みについて 村営「道の駅青の国ふだい」の運営について (普代村) | 令和4年1月11日 ～1月12日 |
| 一心会 | 会派報発行 第14号:令和3年10月17日 第15号:令和4年1月16日 第16号:令和4年3月31日 | |
| 日本共産党 | 会派報発行 令和4年2月15日 | |

ががが 町政を問う

JR 矢幅駅ホーム



一般質問は、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来の方針など諸問題について質問を行い、町の姿勢を明らかにするものです。

6月会議では議員11人による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。掲載の質疑内容は、質問した議員が自ら原稿を書いたものです。

●村松 信一 議員 …………… P7

- ①令和4年度当初予算執行計画について
- ②学校体育施設の有効活用について
- ③公共施設等総合管理計画について

●昆 秀一 議員 …………… P8

- ①役場職員の働き方等
- ②いじめと自死の根絶
- ③消費者被害の防止対策
- ④成年後見制度について

●赤丸 秀雄 議員 …………… P9

- ①小中学校の環境における現状と課題及び対応について
- ②コロナワクチン接種の積極的推進について
- ③高齢者などの移動（手段）のあり方について

●山崎 道夫 議員 …………… P10

- ①「みどりの食料システム戦略」に対する取り組みについて
- ②新たな新規就農者支援策活用による担い手確保の取り組みについて
- ③移住・定住対策の取り組みについて

●小笠原 佳子 議員 …………… P11

- ①18歳成人時代の消費者教育と成人式について
- ②高齢者支援について
- ③学校給食の現下の状況について

●高橋 安子 議員 …………… P12

- ①ギャンブル等依存症の実態と対策について
- ②道路損傷通報システム活用の考えについて
- ③西部地域の観光開発について

●藤原 梅昭 議員 …………… P13

- ①産業の活力を高めるまちづくりについて
- ②安心と信頼が寄せられる行政経営について

●吉田 喜博 議員 …………… P14

- ①防災対策及び教育について
- ②職員の再任用制度について
- ③矢巾観光開発株式会社の今後について

●廣田 清実 議員 …………… P15

- ①盛岡広域都市計画区域区分変更の進捗状況と今後の見通しについて
- ②旧矢巾中学校跡地の活用について

●川村 よし子 議員 …………… P16

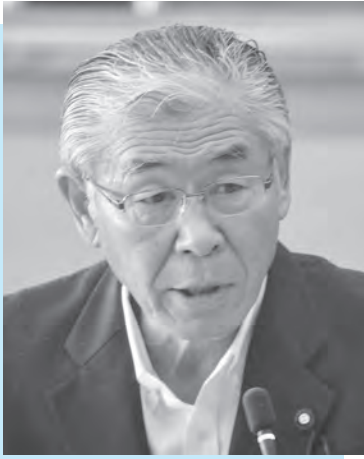
- ①社会保障と医療費助成制度について
- ②交通の権利を生かすことについて
- ③地球温暖化の抑制と産業との連携について

●小川 文子 議員 …………… P17

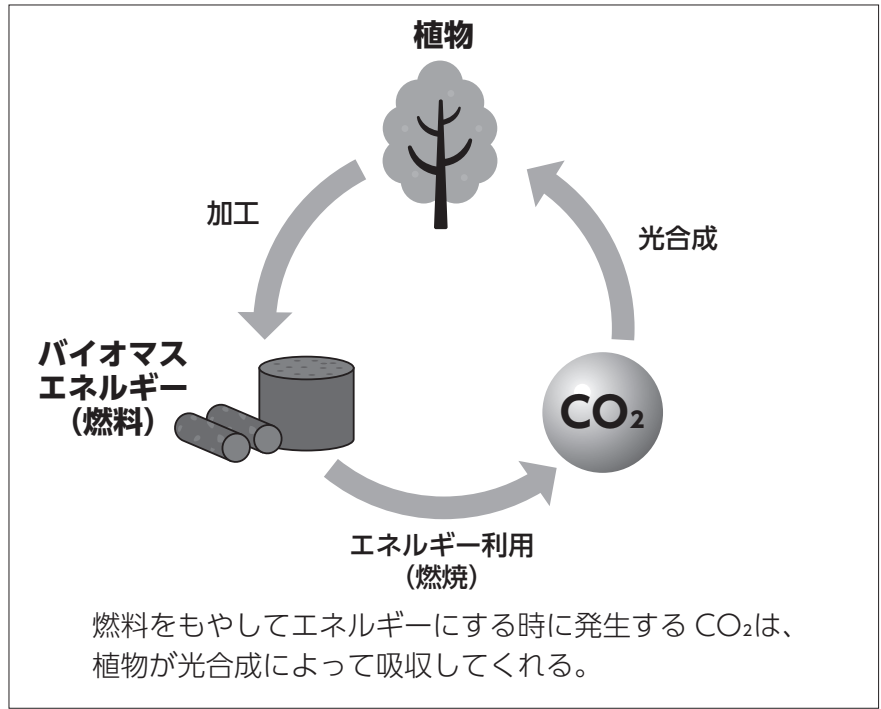
- ①新型コロナウイルス感染症対策について
- ②児童・生徒の健康の状況について
- ③町営住宅の建て替えについて
- ④本町独自の食糧増産のための計画立案について

※上記は、事前に提出された通告書の項目です。
次ページからの内容は紙面の都合上、一部要約して掲載しています。
詳しくは、議会事務局まで ☎ 019-611-2801

新エネルギー導入計画は 木質バイオマス発電所を誘致



むらまつ のぶ かつ
村松 信一 議員
(矢巾明進会)



バイオマスエネルギーのカーボンニュートラルの仕組み

質問 脱炭素社会としての新エネルギーの発電素材に、ふさわしいものは何か。

町長 製材所排出の木材量が豊富なことから、木質バイオマス発電所の誘致を予定。

質問 鳥獣被害防止の狩猟免許取得支援策は。

町長 5名を目安に免許取得費用に補助したい。

質問 リサイクル・モアの持ち込み状況は。

町長 月平均22ト、9カ月で206ト持ち込まれており、環境施設組合の資源ごみの回収は減少傾向にある。

質問 不法投棄撲滅のための対応策は。

町長 監視カメラを設置し、警察に通報する。

質問 スマートフォンによる各種納税が可能となったが、利用状況は。

町長 4月からの導入は問題なくスタートしている。

今後、県税等の納税が始まることから、利用者数の増加が見込まれる。

質問 農業委員会が導入したタブレットの活用状況は。

町長 「人・農地プラン」の実践に係る目標地図の作成や耕作放棄地解消に向けた農地パトロールに活用する。

質問 共同調理場が委託方式となったが、変わった点は。

教育長 人員体制の確保、調理作業工程表や動線図など、調理業務を委託したことで、職員の業務負担の軽減につながっている。

また、前年比350万円の経費削減となっている。

質問 最近、食材が高騰しているが、経費削減分を給食費に補助しては。

教育長 削減した部分も考慮し、給食費値上げにつながるような総合的な判断をしたい。

質問 学校体育施設の町民への開放状況は。

また、中学校のプールや南昌ホールなども一般に開放としては。

教育長 学校の体育施設は一般に開放している。

プール・南昌ホール等については管理に課題があり、開放していない。

今後については、安全・安心な使用ができる事を前提に開放を検討する。

職員のテレワーク等の状況は 業務ができる体制を構築



議員
秀一 昆 (一心会)

質問 役場職員の業務内容は大変多岐にわたっており、なおかつ細分化された上で、その業務量も膨大になってきている。

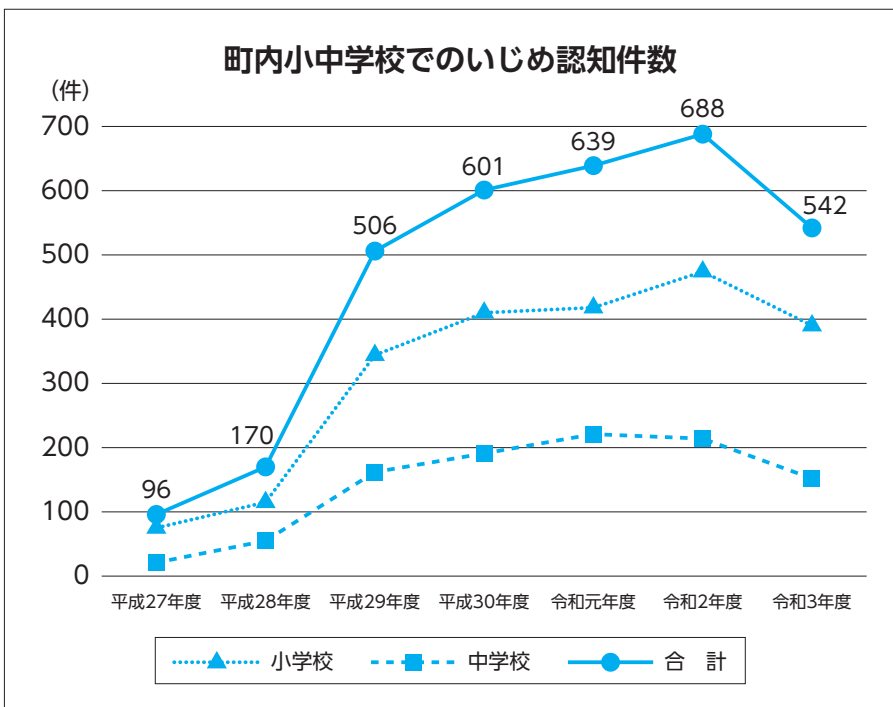
しかし、町が発展していくには職員がいかに知恵を出していくかにかかっている。

職員の働き方として、テレワークやオンライン業務の状況はどうなっているのか。

町長 職員が在宅で業務ができる体制を構築している。

今後は、ワークライフバランスの向上につながるような活用の幅を広げたいと考えている。

オンラインは、研修や会議等働き方の観点からも、有益なものとなっている。



町教育委員会の資料より

質問 町内小中学校のいじめ

学校のいじめをなくすにはいじめ見逃しゼロを合言葉に

件数やアンケート調査の内容を、どう捉え対応しているか。

教育長 件数や、調査の内容については、認知する数が多く多様性が出てきている。いじめ見逃しゼロを合言葉に、いじめは絶対に許されない、許さないという気持ちと

願いを込めた学校風土を形成していく。

質問 庁舎内における、ハラメント等の未然防止対策は。

町長 *メンター制度を導入し新規採用職員が職場に早く順応できるよう、相談しやすい体制づくりに取り組んでいる。

消費者被害防止
情報提供は

町ホームページ等で
周知・啓発

質問 消費者被害防止のために、さまざまな広報媒体による呼びかけなどの情報提供や、ライフステージに合った色々な場を活用した消費者教育が重要である。これらをどのように行っているのか。

町長 消費者月間や高齢者・若年者の消費者トラブル110番週間に合わせ、町ホームページ、広報やはばで周知するとともに、駅・やはばーく等にチラシを置き啓発活動を行なっている。

*メンター制度：指導相談役を担う職員が新入職員や後輩をサポートする制度

予約型乗合バス運行の改善は 要望もあり改善に努めたい



あかまる ひで お
赤丸 秀雄 議員
(一心会)



「南昌の湯」送迎用に予定しているマイクロバス

「南昌の湯」に 送迎バスを ヤングケアラー の実態は

導入に向け検討中

今年度詳細を把握

質問 町内唯一の温泉施設、南昌の湯の利用促進に送迎バスが必要と考える。

また施設改修も必要では。

町長 利用者拡大に送迎バス導入が必要と踏まえ、現在検討中で導入にめどが立った。

改修は財政的制約もあり、できる箇所から優先順位を付け、計画的に手掛ける。

教師等の

ICT研修は

1クール5回の

研修を実施中

質問 ICT教育が本格導入となり、教師等のスキル向上が課題と思うが研修計画は。

教育長 スキルに課題のある教師等を対象に、1クール5

回の研修を設定して取り組み中である。

30代以下の 感染者が多いが

ワクチンの全接種者
7割超えを目指す

質問 30代以下の感染者が7割弱と多いが、接種に町独自の特典を設けて積極的に推進する考えは。

町長 感染拡大の防止は接種率70%以上と言われている。

町の接種率は7割近くであり、特典等による積極的接種は考えてない。

質問 予約型乗合バスの利用者が少ないのは、利用者の声
が反映されていないことと、
運行のPR不足があると思う
がその対応は。

町長 こまめな説明会開催な
どPRに努め、利便性向上に
何が必要か再検討を行いたい。

新たな農業者確保の取組みは 動画等で積極的にPR



やまざき みちお 議員
山崎 道夫 (一心会)

新法の基本計画 策定は

矢巾型の システムを構築

【質問】 4月に成立した新法「みどりの食料システム戦略」について、町としての基本計画策定の考えは。

【町長】 国のメニューで、有機農業の団地化や、SDGsに対応し環境負荷軽減および収益性向上を両立した産地づくりの支援、スマート農業の展開支援などがあり、矢巾型のみどりの食料システム構築を考えている。

移住定住希望者 への対応は

各種支援策と 環境の良さをPR

【質問】 過去5年間の県内外からの移住定住者数は。

また、首都圏等の移住希望者に向けた町のPRは。

【町長】 現状においては、通常の転入者と移住定住者を区別する基準は、全国的に定まっていない。

個人住宅取得資金利子補給制度を活用し、移住定住した人数は950名。(内、首都圏からの移住者は27名)

町のPRについては、移住支援補助金、個人住宅取得資金利子補給金、結婚新生活支援補助金に加え、赤ちゃん子育て応援給付金等での、子育てに優しいまちづくりや、生活環境の良さを情報発信していく。

【質問】 新規就農者に対し、初期投資の費用1千万円を一括支援する制度がスタートしたが、過去10年間の新規就農者の人数と今後の目標数は。

【町長】 新規参入者7人、親元就農者4人で合計11人となっている。

今後の目標は年間3人、5年間で15人としている。

【質問】 新たな支援策を積極的にPRし、新規就農者を増やすための取り組みは。

【町長】 町内の生産者に焦点を当てた短編動画作成を検討しており、さまざまな人の目に触れるソーシャルネットワークサービスを活用しPRしていく。



りんごの摘果作業模様 (煙山地区)



おがさわら よしこ
小笠原 佳子 議員
(公明党)

18歳での成人式開催は 例年通り「二十歳の集い」を



令和3年度成人式（令和4年1月9日開催 田園ホール）

質問 若者の社会参加を促すことを目的に、令和4年4月民法改正により成人年齢が、18歳に引き下げられた。このことから、今後の成人式を満18歳での開催にできないか。

町長 18歳でのイベントは今のところ予定していない。

令和4年度の「二十歳の集い」は令和5年1月8日に田園ホールで開催予定である。進行は成人者の代表と事前打ち合わせを行う。

福祉用具

支援は

受領委任払い検討

質問 介護サービスにおいて福祉用具購入は、利便性の点からすべて受領委任払いにできないか。

町長 福祉用具購入については所得要件を廃止し、受領委任払い、償還払いを選べるように検討する。

質問 高齢者の事故を減らす

取り組みである「サポートカー限定免許」「運転技能検査」の周知をどう行うか。

町長 各種イベントでの試乗体験やKYT（危険予知訓練）を活用した啓発活動の実施により、交通事故防止を図る。

質問 「住民タクシー」「ライドシェア」の推進で高齢者に使い勝手のよい移動手段を推進できないか。

町長 国による過疎地の特例である「住民タクシー」は、矢巾町には該当しない。

「ライドシェア（相乗り）」は地域の公共交通を維持する手段であり、国の規制動向を注視し検討を進める。

学校給食の

値上げは

予算の範囲内で

提供が可能

質問 現在の学校給食費は、1食いくらか。

町長 小学生は273円、中学生は314円で計算。

質問 値上げが必要な場合、

国の地方創生臨時交付金を活用してはどうか。

町長 今のところ必要なカロリー量を確保しており、予算の範囲内で給食提供が可能と見込んでいる。

※顔写真の白い線は飛沫防止対策アクリルパネルの縁が写ったものです。

依存症の実態と対策は 相談体制を工夫し対応



たかはし やすこ
高橋 安子 議員
(町民の会)

質問 ギャンブルやゲーム依存症が増加している。

ゲームに熱中し不登校になる子どもや大人ではギャンブルが原因の自殺、凶悪事件を起すこともある。

インターネットやスマホなどで容易に賭け事ができることから増加している。

国は、ギャンブル対策基本法を制定し、令和3年に施行した。

ギャンブル依存に関して、岩手県では年間300件以上あるというが本町の状況は。

町長 直接の相談は無いが、依存症が生活困窮の要因になっている相談が昨年は2件あった。



グレース・ロード山梨 [依存症施設] の方々と合同で花植え
(6月26日 夏の花いっぱい運動)

質問 ギャンブル依存などは、世間体を気にして相談できない人が多いと聞く。

誰でも相談できる体制を整えて周知すべきと思うが。

町長 県とも情報共有しながら依存症の予防および回復を支援するため、相談体制を工夫しながら対応していく。

質問 依存症からの回復と社会復帰をサポートする団体から、施設を開設したいとの要望があると聞くが町の対応は。

町長 回復や社会復帰にはサポートする自助グループが重要な役割を果たすことは認識している。施設については周辺の理解を考え慎重に検討。

道路通報システム 活用の考えは

パトロール

強化により対応

質問 雪解け時期に多い道路損傷による事故を未然に防ぐため、住民からの発見連絡を目的とした「道路管理通報システム」を構築する考えは。

町長 システム構築には多くの経費がかかることから、パトロールを強化し早期把握、早期対応に努める。

オートキャンプ場 設置は

前向きに検討する

質問 コロナ禍で町営キャンプ場利用者が大幅に増加しているが、オートキャンプ場設置の考えは。

町長 観光資源を生かしながら周辺の施設との連携を図り、関係者と協議を重ね、前向きに検討する。

持続可能な農業振興策は 新規就農者支援策で担い手確保



ふじ ちら うめ あきら
藤原 梅昭 議員
(一心会)



麦刈りの作業模様

質問 今年度の米価は、さらに下がると言われている中、肥料の大幅値上げが発表されたが町の支援策は。

町長 現在検討中で本議会の補正予算には間に合わないが、その後の補正で対応したい。

質問 農地の集約・維持を図る人・農地プランは、市町村が策定すべき「地域計画」として位置づけ法定化される。

町長 町はすでに県モデル地区として推進しているが、今後の計画は。

町長 サンやはば地区の実績を基に、今年度は横展開として、白沢地区の集約を進める。

質問 厳しい農業情勢の中「水田利活用の直接支払い交付金」の見直しは国の暴挙である。

町長 耕作放棄地・離農がますます増える要因となるが、国への働きかけの考えは。

町長 市町村会としても、農地維持が重要な食料安全保障の観点から大きな問題と捉えており、国に働きかけていく。

企業誘致・用地 開発の対応は

条例改正で

優遇処置を拡充

質問 県南部は企業立地が盛んだが、町の企業誘致および用地開発の対応状況は。

町長 企業立地奨励条例の適用業種に物流関係を追加し優遇処置の拡充を図る。

質問 盛岡南公園周辺の産業用地開発に盛岡市との連携は。

町長 今後、開発計画・動向を見ながら働きかけを行う。

まちづくりは人 づくりの考えを

OJT・外部研修・ 自己啓発を柱に

質問 人の育つ環境づくりが大事だが、「まちづくりはひとづくり」の観点での考えは。

町長 OJT、外部研修、自己啓発の三つの柱で取り組む。

質問 国のコメ余りによる米価下落の中、世界的に食料不足となっている。食料安全保障の持続可能な農業振興策は。

町長 本町でも農業者の高齢化で減少が進んでおり、深刻な問題となっている。新規就農者支援策を活用し、担い手確保の取り組みを行っている。

矢巾観光開発の今後は 経営改善を求め運営見直し



よしだ ひろのぶ
吉田 喜博 議員
(町民の会)



国民保養センター（ゆっこ市）

質問 令和2年度における国民保養センター指定管理料増額の主な要因は、コロナ禍と町内のホテル開業で宿泊および日帰り入浴利用者の減少による売上減である。
また、令和3年12月の一般質問では、今後の収入増につ

ながるよう経営改善を求め運営体制の見直しを実施すると答弁だったが、どのような見直しを行ったか。

町長 昨年8月から継続的に社員のヒヤリングを実施し、業務改善につながる課題を洗い出し、社員一丸となり経営改善に取り組んでいる。
11月からは食堂のメニューの更新やテイクアウト並びに宅配弁当の強化を図ったほか、令和2年10月から1回開催の「ゆっこ市」で入浴と併せ物販販売も強化した。

質問 指定管理の継続を含めた今後の考え方は。

町長 指定管理の継続については、非常勤支配人や取締役と協議を行っているが結論に至っていない。
また、令和5年度の指定管理の見直しについては、今後協議していく。

質問 昨年度の経営状態は。

町長 役員会報告では、約900万円の赤字だが、指定管理の増額は求めない方針。

防災支援状況は 防災整備に補助と 危険回避の教育

質問 各自治会公民館への防災に対する支援状況は。

町長 39施設すべてに、非常用発電機や特設公衆電話、段ボールベット等、避難所として必要な備蓄品を配備済み。
そのほか必要な備品の補助事業も実施している。

質問 児童・生徒を対象にした防災教育の内容は。

教育長 通学路の危険箇所を学習する安全マップづくり、東日本大震災地の見学や体験学習を行うなど、危機回避、危機予測の力を高める内容となっている。

質問 指定避難所に町内の民間ホテル2カ所を、新たに加えては。

町長 ルートイン矢巾については災害時の宿泊施設等の提供協定を締結。今後も指定避難所の拡充に努める。

新市街化区域の行政区割は 今年度中に方針を示す



ひろたきよみ
廣田 清実 議員
(町民の会)

質問 盛岡広域都市計画区域
区分変更の進捗状況は。

町長 東小学校の東側の藤沢第2地区、不来方高校グラウンド南側の田中地区、産業技術短期大学校を含む下花立地区の3地区が令和4年3月29日に岩手県の告示で市街化調整区域から、市街化区域に編入された。

質問 市街化に編入されたことにより、住宅地・商業地の開発行為や分譲の見込みは。

町長 田中地区・下花立地区は第1種住宅地域、藤沢第2地区は準住宅地域の用途で、現在3地区それぞれの開発業者が、岩手県や矢巾町ほか関係機関と協議を進めている。



宅地開発予定の藤沢第2地区

質問 3地区の小中学区が示される時期は。

教育長 将来の学校教育環境を整備していくため、人口動態等を踏まえた小中学校の適正規模、適正配置を昨年6月に通学区域審議会へ諮問している。

本年9月ごろ審議会より答申を受けて、今年度末までに方針を決定したい。

旧中学校跡地の 活用方法は

令和5年度までに
示したい

質問 資産価値を調査する不動産鑑定の実施は。

町長 諸事情により、鑑定は行っていない。

質問 今後の活用方針と確定時期は。

町長 住宅地、産業地、売却による代替地購入など、さまざまな観点から公有地の活用について令和5年度をめどに、具体化した。

今年の秋ごろに開発許可が下りる予定。

質問 新規開発3地区は、現在の行政区で言えばどこか。

町長 藤沢第2地区は藤沢行政区、田中地区は南矢幅第2行政区、下花立地区は南矢幅第5行政区である。

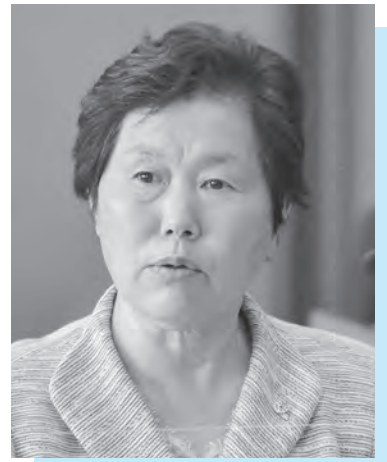
質問 行政区割りの今後の考えは。

町長 宅地開発に伴う行政区割りに対しては、隣接する従前の行政区から分割の相談を受けている。

地域の意向も踏まえつつ、審議会の答申を受け今年度中に方針を示したい。

医療費助成の拡大を

町村会をとおし要望



かわむらこ
川村 よし子 議員
(日本共産党)

質問 令和4年度、国民健康保険税から子ども(未就学児)の均等割が5割軽減されるが、軽減対象者数と総額は、

前回答弁では、法定外繰り入れを行うとペナルティがあるということだが内容は、

町長 対象者は60世帯で未就学児は72名、金額は一世帯当たり約2万円で総額120万円となる。

市町村評価指標がマイナスになり、保険者努力支援制度の交付額に影響することから一般会計からの繰り入れは行わない。国に全国町村会をとおし要望していく。

質問 子どもの医療費助成の一部負担廃止と高校生までの



ひまわりを植栽する煙山保育園児

現物給付できないか。
町長 県事業であるため、一部負担の廃止や高校生の償還払いを現物給付にすることにについては、県内統一しての実施が望ましい。

質問 寡婦医療費助成を受けていた方が、75歳からの後期

高齢者医療制度では、寡婦医療の助成がなく、高齢者には負担が大きいかどうか。
町長 県内の寡婦医療状況は65歳から70歳までとしている市町村が大半であり、75歳までに充分達成されていると考えている。困っている方は、窓口にご相談してほしい。

要支援者に 移動支援を

関係団体と検討

質問 えんじよいセンター利用の要支援者に移動支援できないか。

町長 フレイル予防事業は、地区公民館などで実施している。センター利用者の移動支援は、介助に係る知識や技能も必要だが関係団体と相談し検討する。

質問 福祉タクシー券発行枚数や金額を増やせないか。

町長 タクシー助成券は年間24枚発行し、初乗り料金1枚540円を参考に設定している。利用率の動向を見ながら検討する。

質問 地域交通網形成計画は令和4年度までである。次期計画は利用者当事者を入れるなど考慮してはどうか。

町長 P D C Aサイクルの活用と合わせ、実態に適した計画と改善を図る。



おがわ ふみこ
小川 文子 議員
(日本共産党)

矢巾・高田住宅の建て替えは 候補地など最終調整段階

【質問】 町営住宅の建て替え計画は、令和7年度からの工事着工が示されたが、候補地選定の進捗状況は。

南公園は候補地となるか。

【町長】 案を示す最終的な調整を行っている。
南公園は検討していない。

【質問】 入居者の引っ越しに関し、負担の少ない方法で検討しているか。

【町長】 民間の賃貸物件の借り上げを行うなど、可能な限り入居者の引っ越しの負担を軽減する方向で検討していく。

【質問】 近隣市町では単身者の入居が実現しているが、町の考えは。

【町長】 60歳未満で障がいを持つ方や居住の安定を図る必要のある方に入居を認めており、単身者入居も検討したい。

【質問】 矢巾・高田住宅を売却した場合の評価額は。

【町長】 現在、精査中である。

【質問】 問取りは、子育て世帯や車いす対応、ペット飼育への配慮ができないか。

【町長】 子育て世帯やバリアフリー設計を考慮している。ペットは認めない方向である。

コロナ禍の 経済対策は

生活・産業を支援

【質問】 農業者・事業者へ燃料費の支援はできないか。

【町長】 家畜飼料代の一部を助成する予算を計上した。

町内事業者へは、商工会や関係機関と必要な支援策を協議中である。

【質問】 新型コロナウイルス感



畜産経営を圧迫する飼料の高騰（太田地区）

染対応地方創生臨時交付金が示されたが、生活支援策の内容は。

また給食費無償化の考えは。

【町長】 本町への配分額は9700万円余であり、生活支援策を含め有効な活用ができるよう検討中である。

給食費の食材高騰分にあてることができることを考えている。

コロナうつつは

学校へ相談を

【質問】 子どもの1〜2割にうつつ症状が見られる。アンケートで早期発見の対応を。

【教育長】 欠席や遅刻状況、顔の表情や行動からも把握できる。学校に相談をしてほしい。

あの質問はどうなった

過去に質問したことが現在どうなっているのか調査しました

鳥獣被害防止策は (令和3年9月会議)

質問 町内の鳥獣被害防止策と、今後の計画は。

回答 電気柵や里山の整備および、わなの設置、猟友会の強化など課題も多い。来年度予算化を図り、対策に努める。

現在は

西部山沿いに電気柵等に対応



設置を終えた電気柵（岩清水地区）

令和4年6月に不動中山間地域（岩清水・館前・和味）の山沿いに約7㌔の電気柵を設置しました。

鳥獣被害防止対策は、今後もわな設置や狩猟免許取得補助事業にも取り組みます。

学校の蛇口をレバー式に (令和3年6月会議)

質問 学校でのコロナ感染予防対策の一環として、水道の蛇口を腕で開閉できるレバー式に交換するべきと考えるが。

回答 手洗いは感染症対策のひとつとなっており、今後、補助事業を活用できるか協議し、自動水栓化やレバー式化を進めていきたい。

現在は

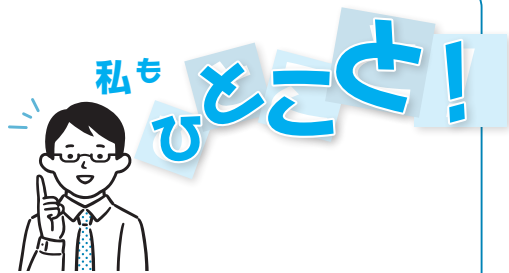
すべての学校でレバー式等に



令和4年3月までに、すべての町内小中学校の蛇口がレバーまたは自動水栓に交換されました。



レバー化された学校の蛇口（不動小学校）



久々の傍聴

声を掛けられて、久しぶりに議会をのぞいて見ようと思った。

風景は変わらず。議員や町の幹部職員など、友人、知人も多いが、皆元気でよかった。議員の質問がスタートした。どなたが先頭でも、だいたい午前中は独り占め。聞いているほうも疲れる。でも、よくあれほどの細かい質問を調べ上げたものだと感じている。午前のうち2人目に移ったが、すぐ昼休み。でも、彼の質問には、びっくりした。いつもの社会問題ではなく、



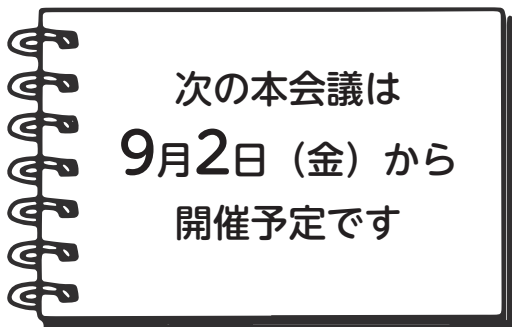
おだ みちお
小田 道男さん
(南矢幅7区)

(写真撮影のためマスクを外していただきました)

職員がよく働いているが町ではどう見ているか、との質問。私は自治会長のためか、町の職員との接触が多い。町の職員はよく働いている。こういう問題を提案した議員に、拍手を送りたい。デジタル化が自治会にも具体的に入ってきた。役場の会議の後、大きな紙袋が渡された。中身はパソコンでありこれを見て、私の時代は終わったと感じた。もうすぐ80歳。区長、自治会長を8年。長い期間やりすぎたと反省している。

みなさんも議会を傍聴しませんか

本会議は一般に公開されており、簡単な手続きで傍聴することができます。会議当日、役場4階 議場にお越しください。(予約不要)



矢巾町議会 検索

●矢巾町議会のホームページ
<https://www.town.yahaba.iwate.jp>

議会の日程や一般質問の内容はホームページでお知らせします。

お詫び

ホームページに掲載している一般質問の録画中継ですが、6月会議の一般質問の動画が、録画機器の不具合によりご覧いただけません。

一般質問の動画を楽しみにしていた皆さまにお詫び申し上げます。

9月会議以降の動画につきましては、解消でき次第ご覧いただけるよう対応してまいります。

なお、一般質問は随時議事録で公開しております。6月会議については8月中旬頃に町議会ホームページで公開する予定です。



さわやかハウスでのマタニティ広場を撮影中（筆者 写真左）

地域おこし協力隊

なか た まさ ひろ
中田 雅博 さん（新田2区）

映像でまちをPR

この春から、地域おこし協力隊として矢巾町に移り住んできました。まだ2カ月しか経っていませんが、少しずつこちらでの暮らしにも慣れてきたように思います。

私はこれまで東京で映像制作に携わり、MVやCMを中心にさまざまな現場を経験してきました。そこで感じたことや身につけたことを生かして、町をPRするお役に立てればと思い、協力隊員になりました。

「媒体での露出は控え、直接お会いして顔を合わせたい」という希望もあり、大きな顔写真は掲載できないのですが、催し物がある際には町の腕章と協力隊の名刺を提げてカメラ片手に歩きまわっていると思いますので、声を掛けていただけると嬉しいです。さて「何年前かに、何もないがキャッチコピー的に使われたことがある」というお話を、町の方から伺いました。

この春から、地域おこし協力隊として矢巾町に移り住んできました。まだ2カ月しか経っていませんが、少しずつこちらでの暮らしにも慣れてきたように思います。

「媒体での露出は控え、直接お会いして顔を合わせたい」という希望もあり、大きな顔写真は掲載できないのですが、催し物がある際には町の腕章と協力隊の名刺を提げてカメラ片手に歩きまわっていると思いますので、声を掛けていただけると嬉しいです。さて「何年前かに、何もないがキャッチコピー的に使われたことがある」というお話を、町の方から伺いました。

これから任期終了までの3年間、よろしく申し上げます。



表紙に寄せて

6月6日、チャグチャグ馬コ前祝祭が、町内各施設で行われました。徳田小学校には親子の馬が登場し、「大きい、かわいい」の声があがり3年ぶりのふれあいを楽しみました。



あとがき

ここ数年、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、制約を余技なくされてきた議会活動も徐々に回復しつつあります。

委員の任期も1年を切りましたが、今後とも分かりやすく皆さまに親しまれるような議会だよりを目指し、町政の現状をお伝えしてまいります。

編集委員長 水本 淳一

発行・編集責任者

議長 藤原 由巳
編集委員

委員長 水本 淳一
副委員長 川村よし子
委員 谷上 知子
高橋 安子
赤丸 秀雄

